



JTA特別塗装機「空手ジェット」モデルプレーン寄贈式

～「空手発祥の地 沖縄」を全国・世界へ発信～

2019年6月20日
第19013号

日本トランスオーシャン航空(JTA、本社 那覇市、社長 青木紀将)は、東京2020オリンピック競技大会から正式種目となる空手競技の発祥の地沖縄を内外にPRすることを目的に、2018年2月より特別デザイン機・空手ジェットを就航しておりますが、更なる空手振興と認知向上を目的に、空手ジェット大型モデルプレーンを沖縄空手会館へ本日寄贈しました。

■「空手発祥の地 沖縄」特別デザイン機(空手ジェット)について

- 機材 737-800型機 2機 (座席数 165席、機体番号JA03RK、JA04RK)
- 就航期間 2018年2月～

■その他のJTA「空手発祥の地 沖縄」プロモーション活動

- 昨年2月に就航したJA03RKのデカールを今年6月に張替え、運航期間を延伸。
- 機内誌Coralway7-8月号、9-10月号の紙面にて「泡盛×空手」をテーマとした記事広告を掲載し、泡盛振興および沖縄空手の認知拡大を図る。
- 7-8月の機内販売において、久米島の久米仙 7年古酒「空手」35度を販売。
- 7-10月の機内ビデオプログラムにおいて「泡盛×空手」をテーマとしたビデオを放映し、泡盛振興および沖縄空手の認知拡大を図る。(県外全線対象)



以上